

営農ウィークリーNEWS

府内JA営農指導活動実績発表会 ～JA京都中央の齊藤TAC優秀賞に～



府内5JAから60人以上が参加しました。

11月10日マリアージュグランデにおいて、標記発表会が開催され4JAより5人が活動を発表しました。JA京都中央からは営農販売課の齊藤TACが「担い手組織結成と農業所得増大の取組～JA京都中央合併20周年目の挑戦～」と題して、買取米穀方式による産米集荷量の7割アップ、営農ウィークリーなどによる迅速な情報発信、広域的な組織・営農者会の設立、特産品の東京出荷推進、共販ナスや花菜の栽培技術向上・出荷改善の取組など盛りだくさんの内容を報告し優秀賞に輝きました。最優秀賞は水害常襲地でのタマネギの生産出荷の取組を発表したJA京都にのくにの吉田氏が受賞しました。



力強く発表する齊藤TAC



入賞した発表者と審査員の皆さん

—TAC information—

フォース粒剤ケナガコナダニ防除に



ホウレンソウのケナガコナダニ被害

秋から春にかけて被害の多いホウレンソウのケナガコナダニ。未熟有機物施用で被害が大きくなります。ダイコン、カブなどのキズジノミハムシなどで効果のあるフォース粒剤が、ホウレンソウのケナガコナダニに9月に登録されました。播種前、全面土壌混和、9kg/10a、1回の登録内容となっています。